



日本・ Bangladesh が官民一体となって開発を進める「 Bangladesh 経済特区 (BSEZ) 」プロジェクト。JETRO は日本企業の皆様の BSEZ への進出をサポートするため、BSEZ に関する最新の情報をお届けします。

本号のトピックス

- Bangladesh ってどんな国
- Bangladesh の経済動向
- BSEZ が開業
- BSEZ の概要紹介 (特徴/開発・販売状況/社長からのメッセージ)
- JETRO 主催「 Bangladesh 製造業ミッション」のご案内
- BSEZ 関連記事・動画のご紹介

➤ Bangladesh ってどんな国？



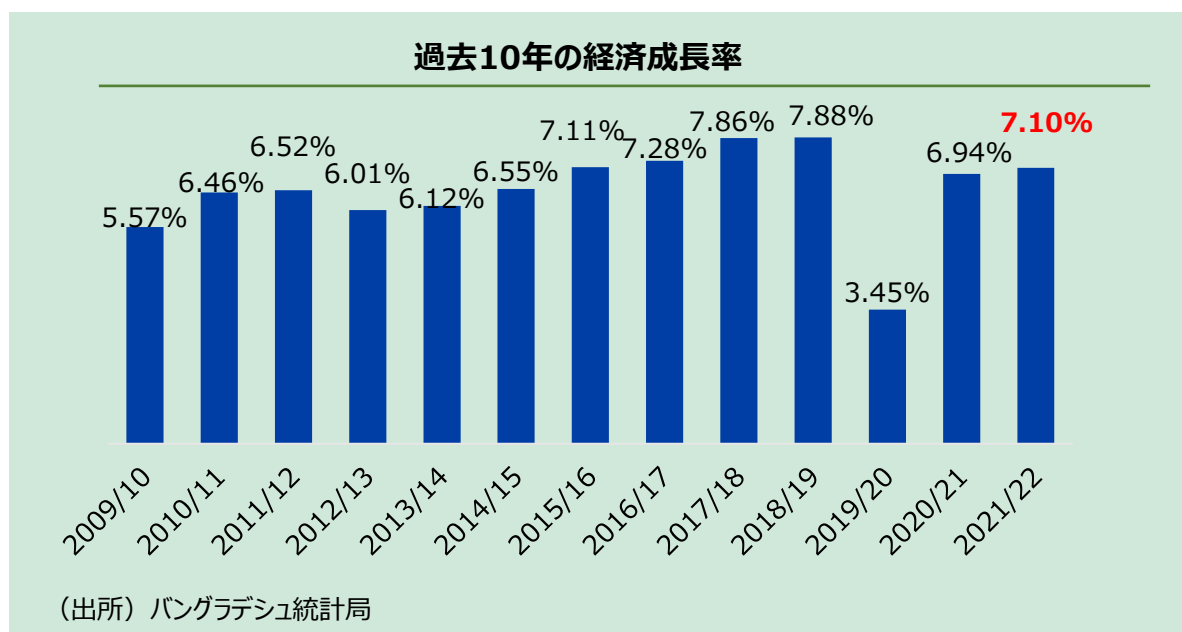
| | |
|------|------------------------------------|
| 人口 | 1億7130万人 (2021/22年度) |
| 面積 | 14万7570km ² (北海道の約1.9倍) |
| 言語 | ベンガル語 (国語) |
| 民族 | ベンガル人 |
| 宗教 | イスラム教 (国教) |
| 政治 | 共和制 (政権与党: アワミ連盟) |
| 首都 | ダッカ (都市人口比率: 31.5%) |
| 経済規模 | 4602億ドル (2022年) |
| 邦人数 | 1,100人 |

- インドとほぼ国境を接し、ベンガル湾に面して大人口を擁する。中国・インド・ASEANをつなぐ三角形の中心に位置する立地
- **1971年独立**の若い国。国全体の経済規模は、**マレーシアやベトナムと同程度**
- **2022年 (2月10日) 、日本-Bangladesh の国交樹立50周年**を迎えた。
親日国として知られる
- 国民は穏健なイスラム教徒、コメと魚を食べる文化、議論好き

▶ バングラデシュの経済概況

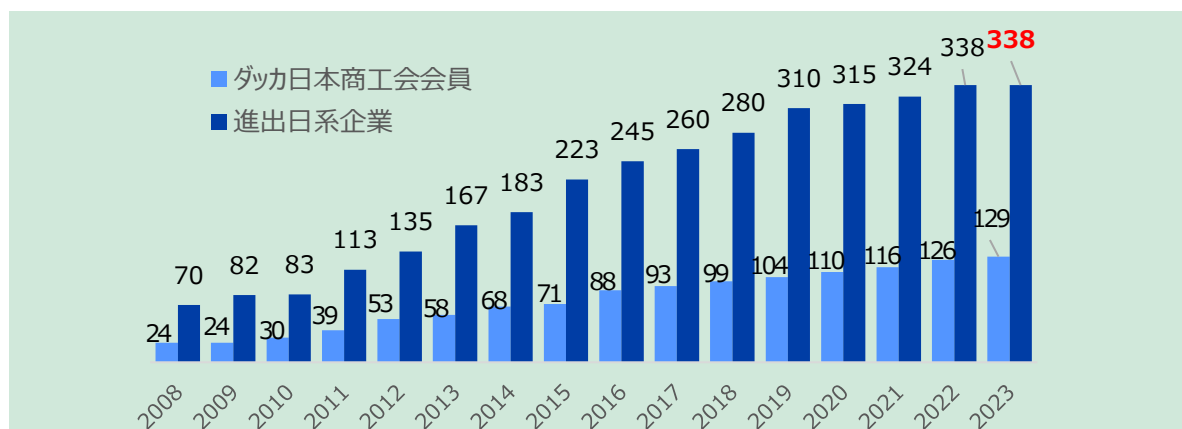
<安定した高い成長率・2026年にはLDC卒業を予定>

- **1人当たりGDP2,097ドル**〔=インド、中国（2006年）、インドネシア（2007年）、ベトナム（2014年）〕
- 新型コロナ禍においても高い経済成長。主に製造業、内需、政府投資が経済を下支え
- 2021/22年度は7.1%成長。ADBは7.2%（21/22年度）、6.6%（22/23年度）成長予想
- **2026年、後発開発途上国（LDC）を卒業予定**⇒ LDC向けの特惠関税（GSP）対象外に
⇒ **日本・バングラデシュの2国間EPAの共同研究会の立ち上げ（12月12日発表）**



<進出日系企業数過去10年で3倍に>

- 日系企業は338社進出、ダッカ日本商工会会員企業は129社（2023年1月時点）
- 繊維業、軽工業などの製造輸出拠点として企業の進出が多い
- 直近は国内のインフラプロジェクトの受注を目指す建設業を中心とした日系企業の進出が相次ぐ
- 内需を目指す日系企業、IT企業からの注目も増加（オフショア、開発拠点、人材採用など）



➤ BSEZが開業

住友商事とバングラデシュ経済特区庁（BEZA）が開発するバングラデシュ経済特区（BSEZ）が2022年12月6日、ナラヤングンジ市アライハザールでついに開業した。日系企業を中心にバングラデシュへの最も有力な投資先として国内外から大きな期待が寄せられているBSEZ。開発にあたっては、インフラ整備、ワンストップサービスセンターの設置のために国際協力機構（JICA）も支援を供与しており、日本とバングラデシュがまさに官民一体となって開発した経済特区だ。



開業式の会場の様子



開業式でスピーチをする伊藤前大使

開業式にはシェイク・ハシナ首相がオンラインで参加して開業を宣言したほか、伊藤直樹・前駐バングラデシュ日本大使や、住友商事の兵頭誠之社長、シェイク・ユスフ・ハルン経済特区庁長官も祝辞を述べた。

ハシナ首相は「バングラデシュはASEANやインドにもアプローチできる位置に立地し、周辺国とのコネクティビティーを活用できる。国内の購買力も上昇しているため、投資のホットスポットでもある。BSEZは日本とバングラデシュ両国政府のイニシアチブで開発した経済特区で、ビジネスフレンドリーな政策の下、ワンストップサービスセンターや国際水準のインフラ環境などを利用できる。外国企業からの投資を歓迎する」と述べた。



オンラインでBSEZの開業を宣言するハシナ首相

➤ BSEZの概要紹介 (by BSEZ社)

Bangladesh Economic Zone (英名: Bangladesh Special Economic Zone) はダッカ中心部から東に約20キロメートルのナラヤンガンジ県アライハザールにて、住友商事株式会社と Bangladesh Economic Zone Authority (BEZA) が出資する事業会社、 Bangladesh SEZ Ltd. が開発・運営を行っている経済特区。

巷では、 Japanese Economic Zone やアライハザール工業団地という名前が使用されていることもあるが、今後100か所の経済特区を整備する計画の Bangladesh 政府から、同国経済特区のフラッグシップになるべく国名を付けて欲しいと要請があり、正式名称が

「Bangladesh Special Economic Zone」

となったため、これを機会に是非“BSEZ”とご記憶ください。



BSEZ全景



きれいに整備されたBSEZ構内の道路



日バ両政府の支援により立ち上がったプロジェクト、両国の国旗を参考

❗️ **コンセプトは「Japan Quality in Bangladesh」**

<BSEZの特徴>

・円借款による周辺インフラの整備

日本政府の円借款事業により、洪水対策の盛土・堤防工事、各種インフラ設備（電気・通信・ガス）等、国際水準の周辺インフラを整備頂いている。

・高品質のインフラ

30年以上の工業団地事業の知見・ノウハウを反映し、電気（将来的に230kV配電網からの受電を予定）、上下水（中央上下水処理場を完備）、セキュリティ等、高品質のインフラをご提供。

・Bangladesh 政府（BEZA）による支援

BEZAを通じた進出企業向け許認可手続き支援（ワンストップサービス）をご提供。



<開発・販売状況>

バングラデシュ政府とは190haの開発に合意しており、昨年12月より第一期（83ha）の操業を開始、また、第二期（107ha）については今年以降段階的に開発を進める予定。隣接する将来的な拡張用地も含めると最大で、400ha規模の経済特区となる見込み。

お客様への販売状況については、昨年12月の開業式典に際し、ONODA株式会社（ガスマーター）、日華化学株式会社（繊維用化学品）と予約契約を締結。

既に契約を締結している、SINGER社（アルチエリク社が親会社（トルコ：家電））、Rudolf社（ドイツ：繊維化学品）と合わせて、計4社様と契約を締結している。加えて、複数のお客様と具体的な区画を基に交渉を行っており、第一期につきましては大半の区画が埋まっている状況。

上記の通り、今年より第二期開発を開始する予定としているため、進出にご興味お持ちのお客様には、第二期区画をご案内させて頂く予定。



整備された構内の水路



予約契約締結セレモニーの様子

<BSEZ 河内社長からのメッセージ>

バ国は今、国が変わるという熱気に包まれています。昨年ダッカ市内のMRT（都市高速鉄道）開通とBSEZ開所があり、来年にはダッカ空港の新国際ターミナル開業が予定されています。ダッカ市内では至る所で近代的なビルが建設ラッシュとなっており、初めてバ国にお越し頂いた方はその発展状況に驚かれます。

経済に目を向けると、2026年のLDC（後発開発途上国）卒業を経て、2030年に中所得国、2041年には先進国仲間入りを目指しています。また当地のメディアではRCEP加入を目指すという報道もなされており、バ国はNext11、Frontier5と称され、今後の世界経済成長の一翼を担うとも言われています。

その経済発展の起爆剤の一つとして期待しているのがBSEZです。バ国はそのポテンシャルとは裏腹にインフラや法制度の未整備が懸念ではありますが、生産に必要な基礎インフラは円借款にて整備し、投資関連制度はバ国経済特区庁が全面支援します。また住友商事の30年以上に亘る工業団地運営ノウハウを基に、日系企業の皆様が安心して操業に集中できる環境を整えて参ります。是非一度、発展めざましいバ国にお立ち寄り頂き、BSEZにも足を延ばして頂ければ幸いです。



➤ JETRO主催「 Bangladesh 製造業ミッション」のご案内

JETROでは、Bangladeshの現地視察を行うミッションを以下のとおり開催いたします。BSEZの視察ももちろん行程に含まれておりますので、ぜひこの機会にご参加ください。

【日程】3月12日（日）～14日（月）

※「現地集合・現地解散型」のため、一部行程のみの参加も可能とする。

【参加者】Bangladeshの製造拠点としての可能性に関心を持つ日本企業（第三国に進出する日系企業含む）

【参加費】無料（渡航費・宿泊費は参加者自己負担、現地移動費やネットワーキングなどにかかる費用は原則JETRO負担）

【申込・詳細】※3月3日（金）締切

https://www5.jetro.go.jp/newsletter/bad/2023/annaisho_seizou_1.pdf

【お問合せ先】

Growth Cars and Solutions Bangladesh Co.,Ltd.（旅行業務委託先）

担当：塚原様 growth.cs.bd@gmail.com

| 日程 | 行程 |
|-----------|------------------------------------|
| 3月11日（土） | Bangladesh到着 |
| 3月12日（日） | ビジネスサミット、ジャパンセッション、FBCCIとのネットワーキング |
| 3月13日（月） | BSEZ視察、工場訪問（日系・現地）、ネットワーキングなど |
| 3月14日（火） | 工場訪問（現地企業）など |
| 3月15日～16日 | 【オプション】チッタゴン訪問 |

➤ BSEZ関連記事・動画のご紹介

過去に、ジェトロでBSEZに関する情報をご紹介した記事・動画を一覧でご紹介いたします。

- [バングラデシュ経済特区が開業、ハシナ首相も外国投資に期待\(バングラデシュ、日本\) | ビジネス短信 —ジェトロの海外ニュース - ジェトロ \(jetro.go.jp\) \(2022年12月9日\)](#)
- [ジェトロ、バングラデシュ投資セミナーを共催\(バングラデシュ、日本\) | ビジネス短信 —ジェトロの海外ニュース - ジェトロ \(jetro.go.jp\) \(2022年10月24日\)](#)
- [魅惑のバングラデシュ -変わるビジネス環境- | 2022 - これまでの番組 - 国際ビジネス情報番組「世界は今 -JETRO Global Eye」 - ジェトロ \(2022年8月18日\)](#)
- [住友商事が開発するバングラデシュ経済特区 \(BSEZ\) の販売開始\(バングラデシュ\) | ビジネス短信 —ジェトロの海外ニュース - ジェトロ \(jetro.go.jp\) \(2022年3月28日\)](#)
- [住友商事に聞く、経済特区開発の今 \(バングラデシュ\) | 地域・分析レポート - 海外ビジネス情報 - ジェトロ \(jetro.go.jp\) \(2021年9月17日\)](#)
- [新型コロナ禍でも順調に進むバングラデシュ経済特区開発\(バングラデシュ、日本\) | ビジネス短信 —ジェトロの海外ニュース - ジェトロ \(jetro.go.jp\) \(2021年3月12日\)](#)
- [住友商事が主導する経済特別区で基礎インフラ開発開始\(バングラデシュ\) | ビジネス短信 —ジェトロの海外ニュース - ジェトロ \(jetro.go.jp\) \(2020年2月7日\)](#)

Column ～ダッカで味わう、家系ラーメン～

「バングラデシュで本格的なラーメンなんて食べられるはずがない」、そんな先入観を打ち破ってくれるのが、2020年にダッカ市内にオープンした日本食レストラン「匠 (TAKUMI)」だ。日本人のシェフが在籍し、複数種類の自家製スープ・麺のラーメンに加え、だし巻き卵や鶏のたたきなどの居酒屋メニューも豊富に取り揃えている。ラーメン一杯680タカ（日本円で830円）とお手頃な価格も魅力の一つだ。

在留邦人数も1,100人に達した今、ダッカの生活環境は想像よりも整いつつある。



「匠」のスペシャル家系ラーメン
(980タカ)

【BSEZへの入居検討等に関するお問合せ先】

Bangladesh SEZ Ltd (担当：新川様)

E-mail: masashi.shinkawa@bangladeshsez.com, TEL: +880-18-1010-1134

【BSEZ通信、BSEZメールマガジン、バングラデシュ製造業ミッションに関するお問合せ先】

ジェトロ・ダッカ事務所 (担当：薄木)

TEL: +880-2-55052239, E-mail: bad@jetro.go.jp

～ **BSEZメールマガジンご登録のお願い**～

今後、BSEZメールマガジンの配信ご希望の方は、以下のリンクよりご登録をお願いいたします。

👉 https://www.jetro.go.jp/mreg2/magRegist/index.htm?mag_id=3638

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。